



会長 及川昭宏  
 幹事 太田陽平  
 会報 猪股育夫  
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼  
 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼  
 ☎22-8180 FAX22-0327



## 第2832回例会 2022. 9. 15 No.7

### 本日の出席率

・本日の出席率 87.5%

### ニコニコボックス

- ・及川昭宏会長 千葉吉男会員の楽しいスピーチ、よろしくお祈りします。
- ・千葉吉男会員 本日、私のスピーチです。よろしくお祈りします。
- ・飯塚仁哉会員 千葉吉男会員のスピーチ、今日もエレクトリックに関する事でしょうね。勉強になります。
- ・佐藤幸一会員 千葉吉男会員のスピーチにご期待申し上げます。
- ・江川元徳会員 クラブ活動計画書、出版の時期にびっくりしました。1日1日過ぎるのが早いです。
- ・八谷郁夫会員 千葉吉男会員のスピーチ、専門情報楽しみです。
- ・菅原文之会員 コロナワクチン接種4回目が終了しました。皆様の顔を見ないと落ち着かないので来ました。千葉吉男会員のスピーチを歓迎して。
- ・布施孝尚会員 千葉吉男会員のスピーチに期待して。
- ・山田正会員 レジェンド千葉吉男会員のスピーチに期待します。
- ・富士原裕子会員 千葉吉男会員スピーチ楽しみです。
- ・佐藤早智子会員 本日のスピーチの千葉吉男会員、為になるお話に期待しております。
- ・及川富男会員 千葉吉男会員のスピーチに期待して。
- ・加藤亮会員 千葉吉男会員のスピーチに期待して。
- ・伊藤幸子会員 本日の千葉吉男会員のスピーチに御期待します。
- ・村上正弘会員 大分涼しくなってきました。風邪などひかないよう留意しましょう(コロナも)。
- ・太田陽平幹事以下 本日のスピーチに期待して。  
 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員 猪股育夫会員

佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員  
 高橋利光会員 小野寺伸浩会員 杉田広仁会員  
 千葉正宏会員 佐藤哲弥会員 森田峯男会員  
 以上、ありがとうございました。

### 会長要件 及川昭宏会長

この度、本棚を整理して懐かしい本を見つけました。30年ほど前のベストセラーだった「大国の興亡」という本です。皆様は読まれましたか？本棚には同じ時代の当時ソニー会長の盛田昭夫氏の「ジャパンアズナンバーワン」や盛田氏と石原慎太郎氏共著の「NOといえる日本」が有りました。片付けで本を見つけると当初の目的そっちのけで読んでしまうのは中々治りませんね。ここで「大国の興亡」の概略をお話してみたいと思います。

大国の歴史を世界史の中で、戦争(軍事力)と経済(力)を軸に据え、地政学などの手法を駆使し、俯瞰しながら検証している。国際関係論としても学べる。リアリズム(現実主義)、リベラリズム(自由主義)、コンストラクティビズム(構成主義)など超え、移ろい行く大国の覇権興亡を1500年から2000年まで、ヨーロッパを中心に描く、ハプスブルク家、オランダ、ポルトガル、神聖ローマ帝国、フランスナポレオン、大英帝国、ナチスドイツ、ソ連、アメリカの興亡とその理由。

ナポレオン、ナチスは軍事力に偏りすぎ、冬将軍のロシアへ攻め込んだことが致命的な戦略ミスであり、それが経済面で国内の財政を圧迫し破綻。ロシアは民族主義に資本主義を取り入れ、中国は共産国家ゆえの唯物史観、拝金主義、知識を軽視し、経済、科学、あらゆる分野で遅れを取ったことを反省し対米競争をむき出しに覇権を唱え始めている。アメリカはかつての大英帝国のように、世界中に軍を駐留させて、手を広げ過ぎている。大国から学ぶべきは軍事史と経済史で、

国力としての軍事力と経済力は相対的であるという考えから覇権国家のみにスポットを当てる愚を廃し、主要な国々について比較する。1980年当時の世界情勢と歴史的事実から類推される21世紀を示唆している。軍事と経済という全体構成を保ちつつ、個別の事象を迫力をもって構成。下巻は、一次大戦集結1919年から、米ソが衰退してきた1980年までの歴史と今後の推測。「二十一世紀に向かって」は、ここ数10年、筆者の推測が外れている。EU統合、日本経済は停滞、ソ連は崩壊に至った。歴史は予測しない方向に流れていくが、時代精神を知ることによって本質を理解できる。時代を歴史的事実で実証しようとしている名著といえると思います。外れた部分からその要因を分析するのも面白いかも知れません。

大国の定義からすれば日本は経済のみの大国と言えたのかも知れません。中途半端なのでしょうか？これから先、大国の主義主張によって考え方や行動の基準が変わるのも歴史の宿命と言えるでしょう。

### 幹事報告 太田陽平幹事

- ・岩出山RCより  
 国際親善交流会参加(米山奨学生の派遣のお願い)  
 日時 11月24日(木) 10:40~13:00  
 場所 大崎市立岩出山小学校
- ・川崎大師RCより 会報が届く

### 今週のスピーチ

#### 千葉吉男会員

本日のスピーチの資料を用意いたしましたので、参考にさせていただきたいと思います。

2030~2050年までには、大型トラックは別にして、ほとんどの乗用車、営業車は電気自動車になるのではないかと思います。資料にありますように、地球環境の未来のため、2050年カーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現に向けて、日本政府は「車での電動化」を大きな目標として示しています。

これからは電気料が上がってきます。電気料の最高限度額というのが国との契約でありましたが、それがはずされたので、そのため電気料金は上がり放題となります。電力自由化で新電力会社が出来一時的に安い電気料の新電力会社を利用するようになりました。それを元に戻すと値上げした値段で新規の価格になりますので高くなります。こういった状態になるためできるだけ蓄電器を使って、太陽光等で充電し自宅の電気を自家消費するというのが進められております。

私のところにもそういったお客様からの依頼があります。電力会社に売っても今は13~14円位です。私が太陽光を始めた頃は48円で買ってもらっていました。10年経った太陽光の方は9円ですから、売るよりも自家消費したほうが良いです。そのためには、直流を交流に変換したり、交流を直流に変換する装置を付けて電気自動車を使って、深夜の電気を車に充電し、昼間車を利用しない場合、車のバッテリーを使って住宅の電気をつけるといったことをすると使用電気料は大体5分の1で、私の家の場合はオール電化になっていますが1ヶ月約1万位です。年間12万円位あると電気

料をまかなえる状態です。ガスも灯油も使っていません。

ただし、設備にはお金がかかります。V2H充放電設備のための補助金も申請することによって交付されます。今年もう半導体が入らなくて、来年度の申請となります。国では来年度は今年度の倍の補助金を準備するそうです。来年の4月以降の工事となります。事業所によっては充電設備費・工事費が100%補助されます。しかし、初期投資がありますので、なかなか思うように進みません。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、日本では「2035年までに乗用車新車販売で電動車100%」という目標の実現に向け、官民一体となって取り組んでいます。公共充電スタンドについても2030年までに大幅に増強するという目標が示されています。

ロシアがウクライナに侵攻したことによって電気料が上がってきていますので、如何に節約するかというと、やはりカーボンニュートラル社会の実現だと思えます。初期投資もある程度考えておけば、長い目で見た時に得をするのかなという感じがします。(以下略)



クリーンアップ湖沼群に参加(9月17日(土)長沼フットピア公園)